

平成27年2月定例会 経済委員会（事前）

平成27年2月9日（月）

〔委員会の概要 商工労働部関係〕

喜多委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（10時46分）

これより、商工労働部関係の調査を行います。

この際、商工労働部関係の2月定例会提出予定議案について理事者側から説明願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【提出予定議案】（資料①）

- 議案第1号 平成27年度徳島県一般会計予算
- 議案第4号 平成27年度徳島県都市用水水源費負担金特別会計予算
- 議案第6号 平成27年度徳島県中小企業・雇用対策事業特別会計予算
- 議案第7号 平成27年度徳島県中小企業近代化資金貸付金特別会計予算
- 議案第13号 平成27年度徳島県公用地公共用地取得事業特別会計予算

【報告事項】

- 県立テクノスクールと県立工業高校との連携について（資料②）
- 徳島県観光振興基本計画（第2期）案について（資料③④）
- とくしま県産品振興戦略（第2期）案について（資料⑤⑥）
- 関西広域連合「関西観光・文化振興計画」の改定について（資料⑦）

酒池商工労働部長

初めに、去る2月6日に本県南部を震源とする地震による県内事業者及び観光客、当部所管の県有施設に係る被害状況について御説明いたします。

地震発生後、速やかに商工団体をはじめとする関係機関と連携し、情報収集を行いますとともに、企業活動応援メールなどを活用し、地震の震源地や規模などの関連情報を提供いたしました。

その結果、本日までに県内全域において、人的・物的被害について、いずれも大きな被害の報告はございません。

また、所管施設におきましても、人的・物的ともに被害が発生していないことを確認いたしております。

商工労働部といたしましては、引き続き関係機関と緊密に連携し、災害に備えてまいりたいと考えております。

続きまして、商工労働部から今議会に提出を予定しております案件につきまして、御説明させていただきます。

お手元の経済委員会説明資料の1ページをお開きください。

平成27年度商工労働部主要施策の概要でございます。

施策全体を、大きく5本の柱で構成し、各施策を推進することとしており、まず、1の強みを生かした成長産業の創出・集積では、ICTの活用及び企業誘致の推進を重点的に進めてまいります。

（1）の①「クリエイティブ先進県とくしま」の推進として、将来の業界を担うクリエイターの発掘やジュニア世代からの人材育成を地元アニメ制作会社等と連携し、進めてまいります。

また、③「2つの光」を活用した関連企業の誘致及び④戦略的企業誘致の推進では、LEDや光ブロードバンド環境はもとより、本四高速への全国共通料金化に加え、来月に開通予定である本四高速と徳島自動車道の直結により、飛躍的に向上する立地環境を積極的に発信し、市町村等と連携した企業誘致プロモーション活動を行うとともに、地方創生の実現に向け、税制改正を踏まえた本県への本社機能の誘致を推進してまいります。

さらに、（2）の②LEDバレイ構想の新たなステージ展開では、これまでの開発・生産、ブランド化、販売の三つの戦略をステージアップさせ、本県の新たな基幹産業としてLED関連産業の集積と活性化を推進してまいります。

2ページをお開きください。

2の交流人口の拡大による経済の活性化では、（1）の②「おどる宝島！とくしま」キャンペーンの展開として、四国横断自動車道徳島－鳴門間の開通や大鳴門橋開通30周年など、この好機を捉え、「おどる宝島！パスポート」のサービス内容の充実や旅行商品造成の促進、淡路花博を活用した県外観光プロモーションの強化による、観光キャンペーンを展開してまいります。

また、④のア、スポーツやイベントを通じた魅力発信では、徳島ヴォルティス、徳島インディゴソックス両チームの集客力や、情報発信力を活用した各種イベントの開催を通じ、一層のにぎわいの創出を図ってまいります。

4ページをお開きください。

3のとくしまグローバル戦略の加速化では、（1）の①訪日観光誘客の促進として、訪日観光の追い風を徳島に取り込むため、重点戦略地域である東アジア及び東南アジアに加え、ミラノ万博等での現地プロモーション及び情報発信の強化を行い、外国人の観光客誘致を推進してまいります。

また、（3）の③地域グローバル人材の育成では、経済団体や高等教育機関との協働により、学生の海外留学や国内外インターンシップ活動を支援し、県内就職へと促すことにより、県内企業のグローバル化を図ってまいります。

5ページにまいりまして、4の頑張る企業に対する効果的な経営支援では、（2）の①経営・金融両面からの一体的な支援として、消費税増税後の消費低迷の長期化や円安による原材料価格の高騰など、県内中小企業を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、経営安定に向けた経営面や資金面からの支援を行ってまいります。

6ページをお開きください。

③企業防災の強化では、県内企業の災害時における事業継続力を強化するため、産学官

連携のもと、企業BCPの策定を促進するとともに、今回新たに、土砂災害警戒区域等からの移転に要する経費を対象とした融資制度を創設し、災害に強い企業づくりを支援してまいります。

5の産業人材の育成と確保では、（1）の①多様な働き方の推進として、ICTを活用したテレワークをはじめとする多様な働き方を推進し、育児や介護等による離職防止や働きやすい職場環境の整備を図ってまいります。

また、②女性の働きやすい職場環境づくりの推進として、仕事と家庭の両立に取り組む企業等の認証・表彰や、働く女性応援ネットワーク会議により、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを推進してまいります。

7ページにまいりまして、（2）の①成長段階に応じた職業観の育成強化では、若い頃からの職業観の育成を図るため、県立テクノスクールでの職業体験や高校生のインターンシップを行うとともに、就職支援協定を締結した県外大学と連携し、UIJターン就職を促進してまいります。

続きまして9ページを御覧ください。

平成27年度の一般会計当初予算は、表の最下段のとおり、697億8,261万5,000円を計上いたしております。

10ページをお開きください。

特別会計では、中小企業・雇用対策事業特別会計など、4会計の合計で、表の最下段のとおり1,247億3,514万8,000円を計上いたしております。

11ページからは、課別主要事項となっております。主なものについて御説明させていただきます。

まず、商工政策課でございます。

商業振興費の摘要欄①のア、地域産業活性化事業は、商工団体による県内企業支援に要する経費を、また、中小企業振興費の摘要欄①のイ、中小企業の総合的な応援拠点整備推進事業は、徳島経済産業会館の整備に係る経費でございます。

以上、一般会計予算は合計で580億8,304万円となっております。

12ページをお開きください。

特別会計では、中小企業・雇用対策事業特別会計の摘要欄①中小企業・雇用対策推進費造成資金貸付金は、とくしま産業振興機構に資金を貸し付け、中小企業・雇用対策を推進するための事業費を確保するものでございます。

特別会計の合計は935億3,567万7,000円となっております。

13ページにまいりまして、企業支援課でございます。

下段の中小企業指導費の摘要欄③中小企業経営改善計画支援事業費は、経営改善計画の策定を行う企業に対し、専門家派遣等を行う経費でございます。

14ページをお開きください。

金融対策費の摘要欄①のイ、中小企業金融円滑化推進費は、中小企業の資金繰り支援のための経費でございます。

15ページにまいりまして、産業立地対策費の摘要欄③企業誘致対策費は、企業誘致を促

進するための貸付金等の経費を、それぞれ計上しております。

以上、企業支援課の一般会計予算は合計で23億796万8,000円となっております。

16ページをお開きください。

中小企業・雇用対策事業特別会計の摘要欄①中小企業振興資金貸付金は、セーフティネット資金をはじめ融資制度に要する経費であり、また、④企業立地促進事業費及び⑤情報通信関連事業立地促進費は、企業誘致推進のための補助金の経費でございます。

18ページをお開きください。

中小企業近代化資金貸付金特別会計の摘要欄①小規模企業者等設備資金貸付事業資金貸付金は、小規模事業者が設備を導入するための貸付金の債権管理に要する経費でございます。

以上、特別会計の合計で234億2,221万1,000円を計上しております。

19ページにまいりまして、新産業戦略課・工業技術センターでございます。

中小企業振興費の摘要欄①のイ、全国少年少女発明クラブ創作展開催事業は、全国少年少女発明クラブ創作展及び発明奨励行事に要する経費であり、また、同じ欄の②のア、健康・医療クラスターステージアップ事業は、「とくしま『健幸』イノベーション構想」に基づき、健康医療関連産業の創出や、糖尿病研究と成果の事業化の推進に要する経費となっております。

21ページをお開きください。

工業技術センター費は、研究開発や試験研究など県内企業の技術的支援を行う経費でございます。

以上、一般会計予算は合計で18億964万円となっております。

22ページをお開きください。

中小企業・雇用対策事業特別会計の摘要欄②のウ、LEDバレイ構想・新用途開発加速化事業は、産学官の共同研究開発を促進し、県内LED関連産業の新製品開発と技術力向上を図るための経費でございます。

次に、オの新市場を拓く農商工連携モデル創出事業は、地域資源を生かした6次産業化の推進や農商工連携によるジャパンブランドの創出を図るための経費でございます。

以上、特別会計の合計は19億7,694万1,000円となっております。

25ページをお開きください。

労働雇用課でございます。

雇用促進費の摘要欄②中高年齢失業者等雇用促進費は、中高年齢における失業者の雇用を推進するために要する経費でございます。

以上、一般会計予算は合計で46億675万4,000円となっております。

27ページをお開きください。

中小企業・雇用対策事業特別会計の摘要欄②のオ、未来の若い力育成・確保事業は、雇用のミスマッチによる若者の早期離職の防止及び県外大学生等のUIJターン就職を促進する経費でございます。

以上、特別会計の合計は57億7,275万9,000円となっております。

28ページをお開きください。

産業人材育成センターでございます。

職業訓練総務費及び職業能力開発校費は、テクノスクールの運営や、民間職業訓練校の補助等に要する経費でございます。

29ページにまいりまして、転職職業訓練費の摘要欄①のウ、テクノスクール障がい者雇用促進事業は、西部テクノスクールにおいて、ハナミズキ西部サテライト利用者等に対し、職業訓練を実施するための経費を計上しております。

以上、一般会計予算は合計で9億6,909万6,000円となっております。

30ページをお開きください。

観光国際局でございます。

国際交流費の摘要欄①のウ、国際人材育成・交流事業は、グローバル人材の育成や地域の国際化を図るため、海外との交流促進に要する経費でございます。

31ページにまいりまして、物産あつ旋所費の摘要欄①のア、「とくしま県産品振興戦略」推進事業は、とくしま県産品振興戦略に基づき、県産品の県内での消費拡大と大都市圏での販路拡大を効果的に推進するための経費でございます。

32ページをお開きください。

中小企業振興費の摘要欄①のア、世界へ飛躍！県内企業グローバル展開支援事業は、東アジア・東南アジアにおける県内企業の販路開拓の支援に要する経費となっております。

33ページにまいりまして、観光費の摘要欄②観光交流推進費のエ、とくしまアニメジャック事業は、徳島ならではのアニメイベントを活用した情報発信の強化に要する経費でございます。

34ページをお開きください。

摘要欄④観光とくしま促進費のイ、コンベンション誘致促進事業は、多くの集客が期待されるコンベンションの積極的な誘致により、本県への誘客拡大を図って参ります。

35ページにまいりまして、摘要欄⑤の阿波おどり振興費は、本県が誇る伝統文化である阿波おどりを活用し、交流人口の拡大を図るための経費でございます。

以上、観光国際局の一般会計予算は合計で20億611万7,000円となっております。

36ページをお開きください。

中小企業・雇用対策事業特別会計の摘要欄②のア、世界へ飛躍！県内企業グローバル展開支援事業は、東アジア・東南アジアにおける県内企業の販路開拓の支援に要する経費でございます。

以上、特別会計の合計は2,756万円となっております。

37ページを御覧ください。

債務負担行為でございます。

まず、一般会計におきましては、商工政策課の予算案に関連し、とくしま産業振興機構が国債等で運用する中小企業・雇用対策推進費造成事業に関し、限度額欄に記載の範囲で、損失補償を行うものでございます。

次に、新産業戦略課の予算案に関連し、同じく、とくしま産業振興機構におけるとくし

ま経済飛躍ファンド造成事業に関し、限度額欄に記載の範囲で損失補償を行うものでございます。

次に、中小企業・雇用対策事業特別会計におきましては、企業支援課の予算案に関連し、企業立地促進事業に係る補助金について、限度額欄に記載の範囲で債務負担行為を設定するものでございます。

商工労働部において今議会に提出を予定しております案件につきましては、以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、この際、4点御報告させていただきます。

第1点目は、県立テクノスクールと県立工業高校との連携についてであります。

お手元の資料1を御覧ください。

県内ものづくり人材の育成を図るため、去る1月26日、南部テクノスクールと阿南工業高等学校との間にて、実践的キャリア教育に関する連携覚書を締結し、本日、西部テクノスクールとつるぎ高等学校との間にて、同様の覚書を締結することといたしております。

なお、中央テクノスクールにつきましては、昨年10月8日に、徳島科学技術高等学校と同様の覚書を締結いたしており、これにより県内全てのテクノスクールと工業高校との連携体制が構築されることとなります。

今後、この覚書に基づき、県立工業高校の生徒が、テクノスクールが有する高度な機械設備を使用し、より実践的な実習を行い、技術を身に付けることにより、本県ものづくり産業を支える人材の育成に努めてまいります。

第2点目は、徳島県観光振興基本計画（第2期）の策定についてであります。

お手元に、資料2として計画案の概要版と資料3として全体版をお配りさせていただいておりますが、このうち概要版に沿って御説明させていただきます。

現行計画策定後、5年を経過し、これまでの取組の成果を踏まえ、更なる観光客・宿泊客数の増加を目指し、第2期計画（案）を策定するものであり、これまで、当委員会におきまして、計画案の骨子、素案を御説明し、御意見を賜ったところでありますが、その後、パブリックコメントや徳島県観光審議会での審議を経て、今回最終案として取りまとめたものでございます。

今議会での御論議も踏まえ、本年度内に計画を策定し、平成30年度を目指した数値目標の実現に向け、積極的に施策を推進してまいりたいと考えております。

次に、第3点目は、とくしま県産品振興戦略（第2期）の策定についてであります。

お手元に、資料4として戦略案の概要版と資料5として全体版をお配りさせていただいておりますが、このうち概要版に沿って御説明させていただきます。

現行戦略策定後、3年を経過し、県内外はもとより海外へも販売戦略を展開することにより、更なる県産品の振興を目指し、第2期戦略（案）を策定するものであり、これまでの当委員会におきまして、戦略案の素案を御説明し、御意見を賜ったところでありますが、その後、パブリックコメントやとくしま物産振興戦略会議での審議を経て、今回最終案として取りまとめたものでございます。

今議会での御論議も踏まえ、本年度内に戦略を策定し、平成30年度を目指した数値目標の実現に向け、関係機関が連携・協力し、着実な施策の推進を図ってまいりたいと考えております。

第4点目は、関西広域連合「関西観光・文化振興計画」の改定についてであります。

お手元の資料6を御覧ください。

まず、改定の経緯についてであります。

関西広域連合におきましては、訪日外国人旅行者が増加する中、関西を魅力ある観光圏としていくため、平成23年度に策定した「関西観光・文化振興計画」に基づき、関係府県市が一体となり、戦略的な取組を進めているところであります。

現行計画策定後、4年を経過し、この間、訪日外国人旅行者の増加や多様化、東京オリンピックやワールドマスタースゲームズの開催が決定されるなど、関西の国際観光を取り巻く社会情勢の変化に伴い、この度、関西広域連合にて、改定案を取りまとめたところであります。

その概要といたしましては、おおむね関西ワールドマスタースゲームズが開催される2021年までを計画期間と定め、五つの基本方針と2020年の関西への訪日外国人旅行者数を800万人とする新たな目標設定のもと、アジアの文化観光首都を目指すことといたしております。

なお、改定案につきましては、3月1日に開催予定の関西広域連合議会3月定例会にて議案として上程され、御審議いただく予定となっております。

本県といたしましては、この計画を有効に活用し、本県への交流人口の拡大による、地域活力の創出につなげてまいりたいと考えております。

説明及び報告事項については以上でございます。

よろしくお願いいたします。

#### 喜多委員長

以上で説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

#### 岡本副委員長

ビッグひな祭りのポスターを持ってきました。何で持ってきたかというところ、ここに元祖と書いてある。まさに元祖なんですけど、いろんなところでいっぱいやっただいております。この前も7日の土曜日に、インディゴソックスの坂口代表と選手のみんなが手伝いに来てくれて、いろいろやっているんですけど、勝浦に来てくれるお客様は5万から6万人で、人口の10倍です。

徳島の勝浦が元祖ということですからうっとやっていたんですけど、千葉の勝浦は27万人来ると。徳島の勝浦に五、六万人といたら、多いんだけど、他県のほうが多くなるとるんです。人口が多いところはやっぱり多いんです。

何が言いたいかといったら、徳島県の東京本部は都道府県会館の14階にある。その横が千葉県です。今の時期になると、このひな人形は徳島県じゃなくて千葉県のほうに立派なのがあるんです。今年はまだ見ていないんだけど。知事も毎年来ているんですが。

もう一回言います。徳島が元祖で、有名になつとるんやけど、高円寺の阿波おどりみたいに他県ですごく有名になっています。

さっきの観光振興基本計画に載ってないんです。もう有名になっているから載ってないんかもわからんのやけど。

元祖だから、できたら都道府県会館の14階にはやっぱり千葉よりいいものを置いてほしいです。今はどっちが本家か分からないような状況になっていると思います。最近見ていないんで、また見ておいてください。

もう一つは、今年の元旦の徳島新聞の1面を思い起こしてください。これだったんです。まさか元旦の新聞にカラーの1面でビッグひな祭りが出るとは思わなかったの、僕はびっくりしました。オリンピックかなんかでブラジルに行くという話が今進んでいまして、国際交流の面からも、水面下で動いているんです。多分行けそうなので、そんなことも含めて、一つはPRと、国際交流の面でもいろいろ御指導いただいたらと思っています。

さっきポスターを持ってきたので、一言ぐらいは言うとかないかんと思って言わせてもらいました。

何かコメントがあったらどうぞ。

#### 仁木観光政策課長

徳島勝浦のビッグひな祭り、非常に歴史と伝統に培われたすばらしいものでございますし、また徳島の勝浦には、千葉の勝浦にはない勝浦座の人形浄瑠璃があるとか、古い恐竜の化石の記念館等があるというように、徳島ならではの良さがあると思います。そうしたものをしっかりと情報発信していくことが非常に重要であると思います。

県の観光情報サイト等のもとよりでありますけれども、「おどる宝島！とくしまキャンペーン」ということで、首都圏また関西圏等に対しましていろいろな形での発信をしております。テーマ性のある旅行のプランといったこともPRしてまいります。そういう中でこのすばらしい徳島勝浦のビッグひな祭り、お隣には産直市の「よってネ市」といった非常にいいものもございまして、徳島ならではの人の温かさといえますか、そういったものも含めましてPRさせていただけたらと思います。

#### 藪下国際戦略課長

今、ブラジルとのひな祭りの交流ということでお話がありました。

この件につきましては年頭の新聞のほうで拝見いたしまして、非常にすごいことだと感じております。ブラジルにつきましては昭和59年にサンパウロ州との友好提携以来、継続して交流を進めてまいりました。近年におきましても平成22年に阿波おどり連のレプレーザ連の連員の方がおいでになるとか、平成23年度には現地のほうから来県して、またこちらのほうもとくしま連として参加しているといったことで交流を続けております。



今回も数多くの人材を先方に送って交流を進めていくということでございまして、非常に有意義なことであると感じておりますので、これにつきましては町のほうとも連携しながら、私どもも精いっぱい協力していきたいと思っております。

#### 岡本副委員長

ありがとうございました。

勝浦座の話もいただきました。アスティとくしまにあった人形浄瑠璃の舞台を全部、勝浦に移転していきまして、勝浦にその全てがあります。そこでひな人形を見ながら、人形浄瑠璃も常時見られます。

もう一つ、千葉との絡みというのは余り皆さん知らないのですが、あえて言うておくんですが、三木武夫という総理大臣がいて、その嫁さんの睦子さんの御実家である森財閥の選挙区が千葉勝浦なんです。森さんの孫に当たるのかな、その方が今出ていますけれども。そんつながりもあって、三木武夫がたまたま勝浦によく来ていました。それがいろいろと膨らんで、広域観光になって、和歌山の勝浦からも人が来てマグロの解体とかをやってくれて、勝浦、勝浦と言って今やっています。

もう一つ、ブラジルに行く話は、関東ふるさと会というのが勝浦にあって、東京でその仕事をしている人が、勝浦出身の人だったんです。僕が行ったときにいろいろ話をする中で、そんな話があるんだったらやってみようかっていうことになりました。これから進んでいくと思いますから、またいろいろ御支援を賜ればと思います。

#### 喜多委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、商工労働部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（11時13分）